

# 定着に向けた「割合」指導の継続的な取組について

各校において、本県の経年的な課題である「割合」の学習については、児童の実態に応じ、工夫を凝らしながら、授業を実施していることと思います。本号では、児童が授業で学んだ内容を確実に定着させるため、継続的な取組を進めることで、「割合」の定着を図る指導について紹介します。

## 家庭学習や補充学習を活用した継続的な取組

「割合」に関する学習内容を定着させるためには、継続的に問題に取り組みせ、授業で学んだ内容を確実に定着させる必要があります。授業中の様子や児童が取り組んだ問題の誤答の状況から、児童がつまづいている点を明確にし、家庭学習や補充学習等でも個に応じた指導を行うことが重要です。使用する問題については、各校で使用している教材に加えて、県教委が作成した「ふりかえりプリント集」の活用も効果的です。

**「ふりかえりプリント集」【検索手順】**

- ①年度（わかれば）  
対象校種（小学校）  
科目（算数（H31（R元）年～）  
算数A、算数B（～H30年度））  
領域（数量関係）  
対象学年  
設問番号（わかれば）  
を入力し、「検索」を押す。
- ②問題を選ぶ。
- ③「問題」を押すと、その問題のPDFが表示される。

※解答用紙や解答例も活用できます。

**「ふりかえりプリント集」問題検索フォーム 平成31年度版**

岡山県教育庁 義務教育課

年度: 平成31年度  
対象校種: 小学校  
科目: 算数A  
領域: 数量関係  
対象学年:  小学校第1学年  小学校第2学年  小学校第3学年  小学校第4学年  小学校第5学年  中学校第1学年  中学校第2学年  中学校第3学年

設問番号: [検索] [クリア]

年度	対象校種	対象学年	科目	設問番号	概要
平成31年度	小学校	小学校第4学年	算数A	1(6)	80÷30÷5を計算する。
平成31年度	小学校	小学校第5学年	算数A	7	20人の多人数男女...
平成21年度	小学校	小学校第4学年	算数A	8	表に当てはまる資料の...
平成22年度	小学校	小学校第4学年	算数A	1(6)	50÷150÷2を計算。
平成22年度	小学校	小学校第4学年	算数A	9(1)	しりがねの面積4...
平成22年度	小学校	小学校第5学年	算数A	9(2)	折れ線グラフを読み...
平成24年度	小学校	小学校第4学年	算数A	1(5)	6÷4÷3を計算。
平成24年度	小学校	小学校第5学年	算数A	8	犬が持っている人が...
平成24年度	小学校	小学校第5学年	算数A	9	道分岐の道の長さ...
平成25年度	小学校	小学校第4学年	算数A	1(5)	10-(6+3)を計算。
平成25年度	小学校	小学校第5学年	算数A	8(1)	200mの50%が当...
平成25年度	小学校	小学校第5学年	算数A	8(2)	500gの120%が当...
平成25年度	小学校	小学校第3学年	算数A	9	最小値が2に当た...
平成26年度	小学校	小学校第4学年	算数A	1(5)	100÷200÷5を計算。
平成26年度	小学校	小学校第4学年	算数A	8	香たけ...
平成26年度	小学校	小学校第5学年	算数A	9	正五角...
平成27年度	小学校	小学校第5学年	算数A	7	ハジメ...
平成27年度	小学校	小学校第4学年	算数A	8	〇を括...
平成28年度	小学校	小学校第5学年	算数A	8	ア...
平成28年度	小学校	小学校第5学年	算数A	9(2)	定員÷乗客÷送人数...
平成29年度	小学校	小学校第5学年	算数A	1(1)	70÷200÷100を計算。
平成29年度	小学校	小学校第5学年	算数A	2(3)	6÷0.5×2を計算。
平成29年度	小学校	小学校第5学年	算数A	8(1)	はしれ持っているた...
平成29年度	小学校	小学校第4学年	算数A	9(2)	出席率7番の人は...
平成30年度	小学校	小学校第5学年	算数A	1(1)	針金0.2mの重さ...
平成30年度	小学校	小学校第5学年	算数A	1(3)	...
平成30年度	小学校	小学校第5学年	算数A	7(2)	...
平成30年度	小学校	小学校第5学年	算数A	8	...
平成30年度	小学校	小学校第4学年	算数A	9	...

リストで選択した問題（大問単位）の情報を下のボタンで  
[全て表示] [問題] [解答用紙] [解答例] [問題情報]

「割合」の単元を学んでいる5年生だけでなく、関連する内容を学んでいる他学年の児童についても、「ふりかえりプリント集」を活用しましょう。



岡山県マスコット「ももっち」

## つまづき解消に向けた指導

児童がつまづきやすいパターンは主に次の2点です。

- ①問題文を読んで、どれが「もとにする量」で、どれが「くらべる量」か、どれが「割合」かわからない。
- ②立式（演算決定）ができない（図がかけない）。

詳しくは、県教委作成指導資料「算数『割合』の指導のポイント」【増補版】に載っています。

そこで、問題文から、次のようなステップを踏まえた授業を行うことが大切になります。

- 問題文から「数量関係」を読み取り
- 「図」を書き、「量感」を実感し
- 問題文を短い文章でまとめ
- 「立式」して「答え」を出す（確かめる）



岡山県マスコット「うらっち」

また、つまづきのある児童には、どのステップでつまづいているのかを見取り、補充学習などで確実な定着を図りましょう。

検索 **Click!** 岡山県教育庁義務教育課